

協議会役員ならびに会長・副会長を選任しました

設立総会において、右記の方々が協議会役員に選ばれ、会長に田伏博喜氏、副会長に浅田勝民氏、石飛昌康氏が選任されました。

今後、役員共々東寝屋川駅前線沿道地区のまちづくりに取り組んで参りますので、会員皆さまのご協力よろしくをお願いいたします。

東寝屋川駅前線沿道地区まちづくり協議会
役員一覧 (敬称略。五十音順)

- ・会長 : 田伏 博喜
- ・副会長 : 浅田 勝民
- ・副会長 : 石飛 昌康
- ・理事 : 田伏 敬三
- ・理事 : 藤澤 浩

田伏会長の挨拶

協議会会員の皆様、協議会の会長を務めさせて頂くことになりました田伏でございます。昨年より「寝屋川市東部まちづくり連合会」を中心に、まちの現況や課題認識、まちの将来像などをテーマに勉強会を行ってまいりました。協議会の発足前に寝屋川市で実施されたアンケートでは、多数の方から「沿道を含めた一体的なまちづくりが必要である」との回答がございました。また、半数以上の方から「まちづくり勉強会に参加する」との回答をいただき、昨年10月に寝屋川市からまちづくりの事例紹介等の勉強会を開催してもらい、11月には世話人会を開催するなど、まちづくりについて議論をしてまいりました。

世話人会を開催する中で、東寝屋川駅前線の早期実現のためには、東寝屋川駅前線沿道地区内において具体的な事業化に向けた検討を行なうための組織づくりとして、「東寝屋川駅前線沿道地区まちづくり協議会」を設立することで意見が一致いたしました。

当地区の課題解消に向けたまちづくりを進めるためには、従来の行政主導の方法ではなく、行政の協力を得ながら、地元や地権者が主体的に考え、取り組む必要があると考えています。

今後、協議会では、具体的にまちづくりをどのように進めるのかについて検討していきますので、会員の皆様方の多大なご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

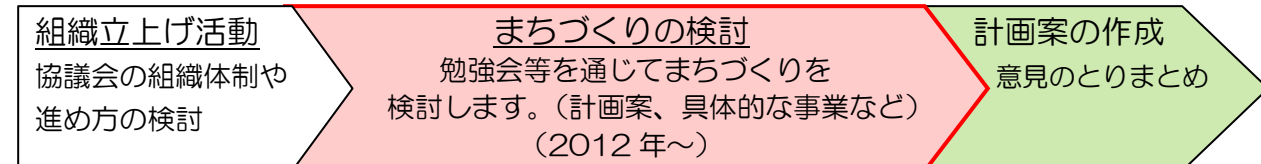
まちづくり協議会の活動スケジュール(平成25年3月まで)

平成25年3月までの活動計画は次のとおりです。

なお、検討プログラムは、現時点の予定であり、変更する場合がありますのでご了承下さい。

	開催内容	検討プログラム
11月	第1回 世話人会	・役員会の進め方について
12月	第2回 世話人会	・まちづくり協議会の設立発起人について ・協議会の規約、及び設立総会について
1月	第3回 世話人会	・設立総会に向けた準備について
2月	まちづくり協議会設立総会	・規約の制定、及び役員を選出について
	第1回 役員会	・まちづくりの進め方について ・まちづくりだよりについて ・寝屋川市への支援要請について
3月	第2回 役員会	・まちづくり整備計画(素案)の検討について ・意向調査について

現在の状況



まちづくりだよりの問い合わせ先：寝屋川市まち政策部都市計画室
 ・電話：072(824)1181 ・FAX：072(825)2618
 ・Email：tosikei@city.neyagawa.osaka.jp

東寝屋川駅前線沿道地区 まちづくりだより

発行：東寝屋川駅前線沿道地区まちづくり協議会

東寝屋川駅前線沿道地区のまちづくりについてお知らせします

昨年度に自治会が中心となる「東部まちづくり連合会」において、寝屋川市及びまちづくりコンサルタントとともに当地区のまちづくりについて、勉強会を計4回開催し、まちづくり構想(案)を作成しました。

まちづくり構想(案)では、まちづくりの課題や活かすべき資源を整理し、将来的なまちづくりのあり方やまちづくりの取組みの考え方をまとめました。

昨年4月には、まちづくり構想(案)等の活動報告を行い、当地区を含む(都)東寝屋川駅前線周辺整備エリアを「優先的にまちづくりに取り組むエリア」として位置づけ、地域の皆さんと市がともに力を合わせて、まちづくりに取り組んでいくことを確認しました。



昨年度の活動の様子

「東寝屋川駅前線沿道地区まちづくりだより」は、まちづくりの活動状況を中心にお知らせするため、定期的に発行します。

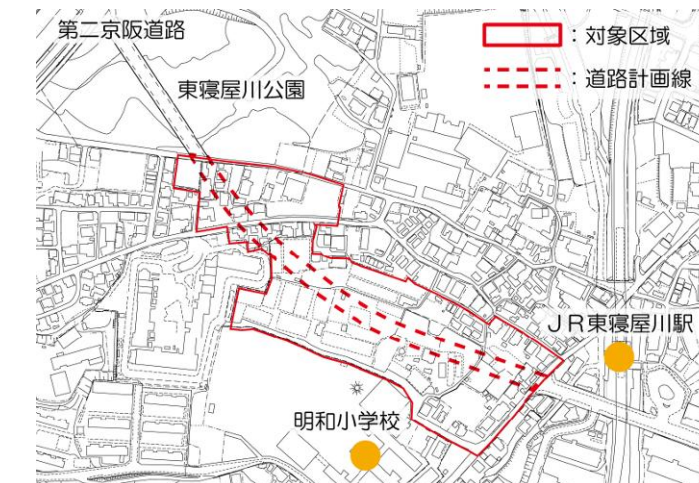
東寝屋川駅前線沿道地区まちづくり協議会が発足しました

2月4日(月)東寝屋川駅前線沿道地区まちづくり協議会の設立総会が打上公民館にて開催されました。(当日出席23名、委任状出席23名 協議会会員59名)

冒頭、田伏世話人代表より、本地区では東寝屋川駅前線が縦断する計画があり、都市計画道路の整備に合わせたまちづくりに取り組んでいくことが必要との挨拶がありました。

設立総会では、協議会の規約の制定、協議会役員を選任、今年度の活動計画について審議され、賛成多数により承認されました。

今後、活動計画に基づき、まちづくりを進めていきます。



対象区域図



協議会設立総会の様子

■アンケート調査のまとめ

8月～9月にかけて地権者の皆さまを対象に、まちづくり活動の認知度やご意向の把握を目的にアンケート調査を実施しました。その調査結果をお知らせします。

- 調査方法：郵送によるアンケート調査
- 調査時期：平成24年8月24日～9月10日まで
- 調査対象：東寝屋川駅前線沿道地区の土地所有者（45名）
- 回答数：38名（回答率：84.4%）
- ※アンケート集計における注意点
小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

■アンケートのまとめ

- 土地の利用状況としては、約8割が「住宅」・「農地」として活用されています。
- 東寝屋川駅前線の沿道エリアを含めた一体的なまちづくりについて、過半数以上の方が「必要」と回答。
- まちづくり勉強会について、「参加する」が過半数を超えており、まちづくりに対する関心が高い。

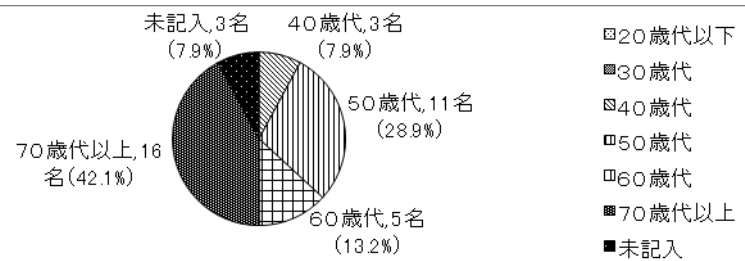
1. 回答された方の属性について

●性別

男女構成比は、男性（60.5%）、女性（31.6%）となっています。

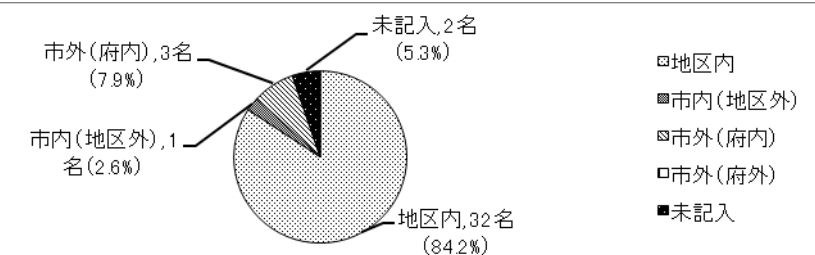
●年齢

年齢別では、「70歳代以上」（42.1%）が最も多く、次いで「50歳代」（28.9%）「60歳代以上」（13.2%）となっており、60歳代以上は、回答者全体の約55%の構成となっています。



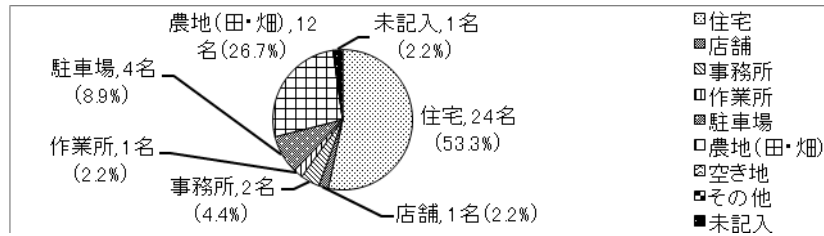
●住所

現住所は、「地区内」（84.2%）が最も多く、次いで、「市外（府内）」（7.9%）、「市内（地区外）」（2.6%）となっています。



2. 土地利用の状況について

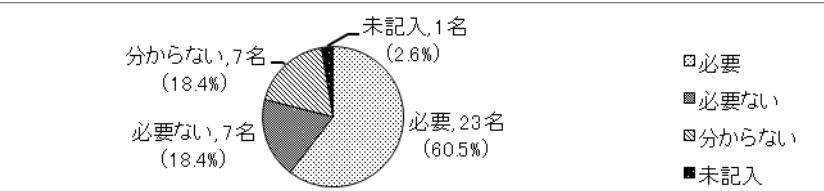
土地の利用状況は、「住宅」（53.3%）と最も多く、次いで、「農地」（26.7%）、「駐車場」（8.9%）となっています。土地利用としては、80.0%が「住宅」か「農地」として活用されています。



3. 都市計画道路の沿道エリアを含めた一体的なまちづくりについて

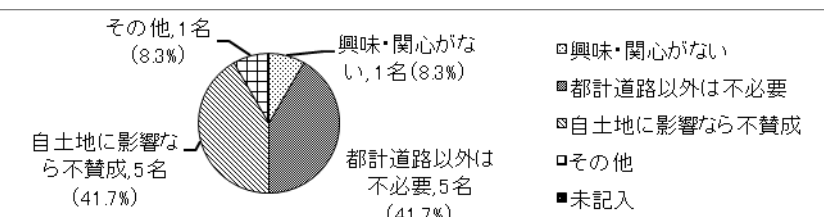
①一体的なまちづくりの必要性について

沿道エリアを含めた一体的なまちづくりについて、「必要」と回答された方が60.5%であり、「必要ない」（18.4%）、「分からない」（18.4%）となっています。



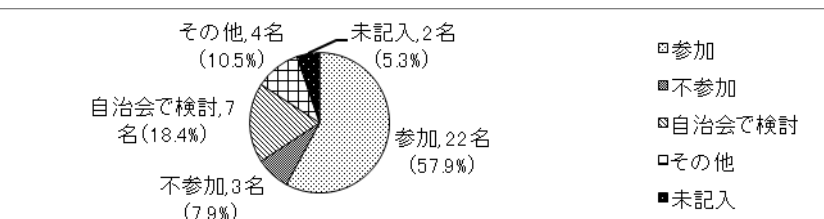
②一体的なまちづくりが必要でない理由

一体的なまちづくりが「必要ない」と回答された方において、その理由としては、「自土地に影響するならば賛成できない」（41.7%）と「都市計画道路以外を整備する必要性を感じない」（41.7%）が多くなっています。



③まちづくり勉強会について

「参加する」（57.9%）が過半数を超えており、次いで「自治会で検討すればよい」（18.4%）となっています。



4. まちづくりについての意見【自由回答】

- ・まちづくりの検討には、対象エリアが狭すぎるのではないか。
- ・小学校に近いので、子ども中心の検討を希望。
- ・田畑を中心とした検討を希望。
- ・環境、防災を含めた検討。
- ・道路整備を最優先で進めてほしい。
- ・車の騒音、公害対策の検討。
- 等

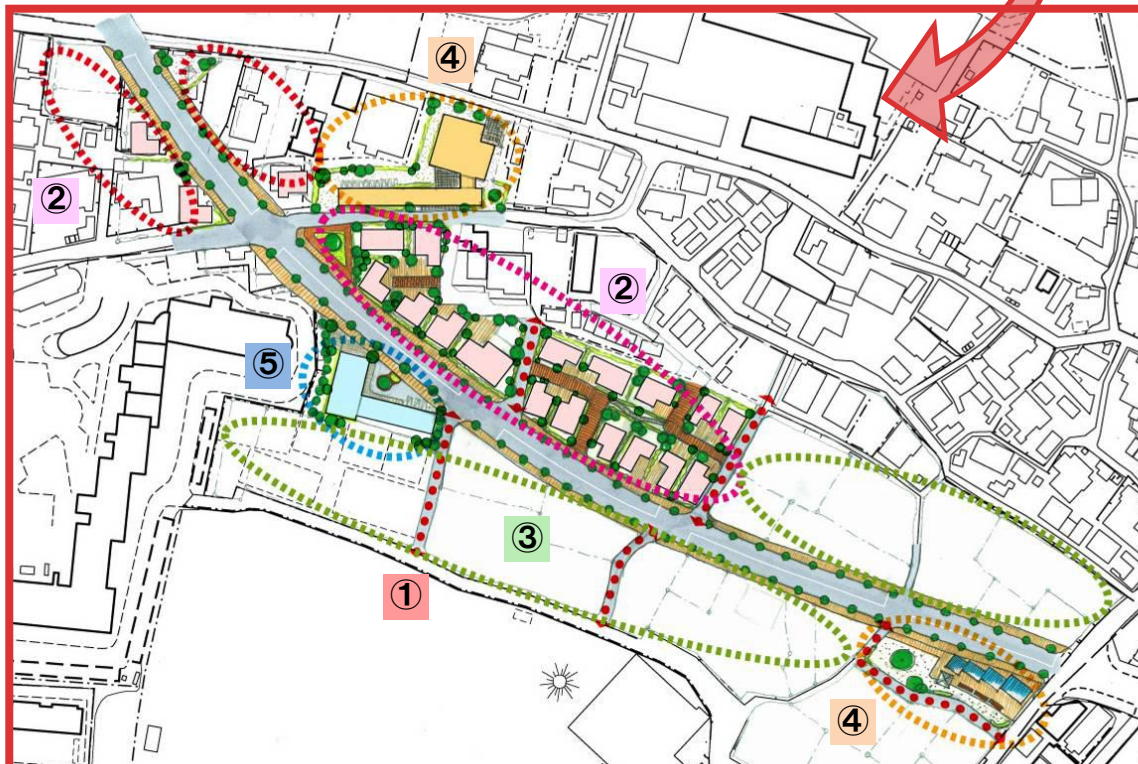
■まちづくり構想（昨年度検討・策定）

まちづくり構想（案）



沿道市街地と一体的な整備イメージ（案）

昨年度、沿道市街地を一体的に整備するイメージ案をまちづくり連合会で検討しました。今後、協議会で検討していきます。



①(都)東寝屋川駅前線と既存市街地との接続道路の整備

②既存市街地における良好な住宅地の形成

③道路内の地権者の代替地と農耕地の保全

④地域交流拠点施設等の整備

⑤地域福祉拠点の整備